

展示室を見にから行ってみよう!

創造館を飛び出して、関連する地を訪ねるシリーズ第四弾。今回は、日本でいちばん美しいと言われる石器群が発掘された、神子柴遺跡を訪ねます。



昭和33(1958)年、神子柴遺跡で行われた発掘調査において、局部磨製石斧(きょくぶませいせきふ)9点、打製石斧(だせいせきふ)4点、尖頭器(せんとうき)18点など、全部で87点の石器が出土しました。

神子柴遺跡の石器は大型のものが多く、非常に高い技術で作られています。また石材は伊那谷・和田峠などのもののほかに、岐阜や新潟以北など、さまざまな土地のものも使われています。

6m×3mの狭い範囲から、非常に精度の高い石器が、意図的に配置されたかのように出土したことや、未使用のものが多く出土していることなどが、神子柴遺跡の謎として、多くの説が唱えられています。

神子柴遺跡は、中央高速伊那インターに向かってアクセス道路を登り、駒美の交差点を右折。700mほど進んでまた右折。そこから750mほど下ったところにあります。創造館から車で約15分。

駒ヶ根に
日和定めて稻の花。
二百十日も過ぎ、豊か
な実りの秋がやってきました。

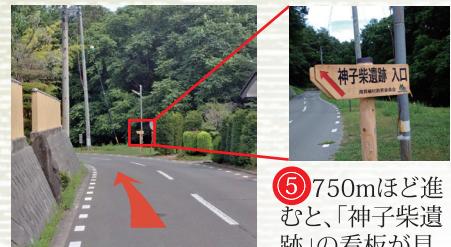


伊那市創造館 INA-CITY SOUZOU-KAN

〒396-0025 伊那市荒井 3520 番地
Tel:0265-72-6220 Fax:0265-74-6829
Mail:szk@inacity.jp

*お車でお越しの方は、「いなっせ駐車場」をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。

その④神子柴遺跡



神子柴遺跡は、約15000年前の旧石器最終末期～縄文草創期の遺跡で1958年の発掘調査で尖頭器・石斧等87点が出土しています。